さぬき映画祭

SANUKI FILM FESTIVAL

さぬき映画祭2024

2月3日(土)・4日(日)

2024

会場：レクザムホール／イオンシネマ高松東／情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ

主催：さぬき映画祭実行委員会／香川県／（公財）置県百年記念香川県文化芸術振興財団／情報通信交流館e-とぴあ・かがわ／イオンエンターテイメント株式会社

後援：朝日新聞高松総局／産経新聞社／山陽新聞社／四国新聞社／毎日新聞高松支局／読売新聞高松総局／RSK山陽放送／RNC西日本放送／OHK岡山放送／KSB瀬戸内海放送／TSCテレビせとうち／KBN／CMSケーブルメディア四国／CVC中讃テレビ／三豊ケーブルテレビ／FM香川／FM815／株式会社香川経済レポート社／高松リビング新聞社／株式会社ナイスタウン

www.sanukieigasai.com

さぬき映画祭2024

2月3日(土)・4日(日)

映画・映像による地域文化の振興と香川の活性化を目的に、
2006年から開催している「さぬき映画祭」は18回目を迎えます。
「さぬき」にこだわり、県内で撮影された作品や話題性のある作品など、
香川にゆかりのある作品を様々なジャンルから選んでお届けします。

香川県在住者・出身者

香川県出身の俳優 高畑淳子さん主演の最新作(2024年春全国公開)をプレミア上映!

4[日] レクザムホール・小ホール/15:00〜 2023年/118分

1 お終活 再春!人生ラプソディ

1,000円 サービスセンター or インターネット予約

監督・脚本:香月秀之

出演:高畑淳子、剛力彩芽、水野勝、松下由樹、橋爪功

©2024年「お終活 再春!」製作委員会

ゲスト

高畑淳子(俳優)

水野勝(俳優)

香月秀之(監督・脚本)

作品紹介 「人生百年時代」を迎え、長い人生をどのように楽しむのか?
千賀子(高畑淳子)は、【「再春」―青春時代の夢にもう一度、挑戦する!】という言葉に触発され、シャンソン歌手としてステージに立つという目標に向かって大張り切り。その一方で、夫・真一(橋爪功)の認知症疑惑もあり、いつものように大原家は一騒動となる。

開会式&令和5年度映画制作補助作品プレミア上映!

3[土] レクザムホール・小ホール/13:30〜 2024年/60分

2 盆栽ラップソディー

無料 入場整理券が必要です(事前申込・先着順・全席指定)

監督:武田龍八
脚本:鵜川京子
[さぬき映画祭 第6回シナリオコンクール大賞受賞]
出演:吉田愛美
仁科貴
八木景子
ロビン
四宮菜々子
七瀬うみ
横山健太郎

ゲスト

武田龍八(監督) 鵜川京子(脚本)
吉田愛美(俳優) ロビン(俳優)
八木景子(俳優)

講評

朝原雄三
(映画制作補助事業審査員長・映画監督)

作品紹介 松盆栽の町〈鬼無・国分寺〉で育った平星楓は、恋愛に興味のない26歳のオタク女子。祖父と盆栽まつりを開催することになるが、直前に祖父が倒れてしまう。楓を支える幼なじみの麻友と梨花、盆栽研修生の陸。楓は盆栽まつりを成功させることができるのか!? 愛と友情のラプソディー。

今回は、西讃地域にゆかりのある作品を上映！

3［土］ レクザムホール・小ホール／10:30～

3 三豊市 中学生映画制作スクール作品「みとよ物語」

無料 入場整理券が必要です（事前申込・先着順・全席指定）

監督・脚本：三豊市映画制作スクール生徒
出演：三豊市中学生、三豊市の皆さん
木内みどり、安藤玉恵、片岡礼子、髙橋洋、黒木瞳
監督指導：深作健太、塙幸成、池田千尋、三島有紀子、常間地裕

ゲスト 映画制作スクール生徒 山下昭史（三豊市長）

『みとよ物語』 2023年/30分
「潮騒」「中学連続盗難事件（仮）」
2023年に制作した2作品のほか、2019年から2022年に制作した過去の作品のなかから選んで上映します

『みとよ物語』「木苺の箱庭」 2022年/20分
『みとよ物語』「彩 ～sai～」 2021年/13分
『みとよ物語 ～花～』 2020年/18分
『みとよ物語』 2019年/20分

作品紹介 中学生「映画制作スクール」は、創造力や表現力などを養うとともに、多様な夢を持ってもらうことを目的に、2019年から始まった。三豊市内の中学生がプロの指導を受けながら作り上げた『みとよ物語』は、LGBTQやヤングケアラー、貧困などの様々な問題に立ち向かいながら成長していく中学生の姿を描いた作品である。

3［土］ イオンシネマ高松東／15:00～ 2021年/124分

4 鬼が笑う

1,000円 会場窓口 or e席リザーブ

監督：三野龍一（三豊市出身） **脚本：三野和比古**（三豊市出身）
出演：半田周平、梅田誠弘、赤間麻里子、坂田聡、大谷麻衣、岡田義徳

ゲスト
三野龍一（監督） 三野和比古（脚本）
半田周平（俳優） 大里菜桜（俳優）

©2021 ALPHA Entertainment LLP「鬼が笑う」

作品紹介 処女作『老人ファーム』で兄弟独自の世界観を見事に作り上げ、1作目にして渋谷ユーロスペース他、全国ロードショーを経た兄・三野龍一が監督、弟・三野和比古が脚本を担当する、兄弟映画制作チーム「Mino Bros.」による渾身の2作目。『鬼が笑う』では、外国人技能実習生問題、日本社会の差別と偏見といった現実を見据えながら、犯した罪を許されない男の魂の行方を力強く描いている。主演は前作『老人ファーム』に続き半田周平が務め、梅田誠弘、赤間麻里子、坂田聡、大谷麻衣、岡田義徳 など魅力溢れる俳優陣が迫真の演技で脇を固める。

高峰秀子生誕100年、「二十四の瞳」公開70年記念上映！

4［日］ 情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ／10:30～ 1954年/156分

5 二十四の瞳 デジタルリマスター

500円 会場窓口

監督：木下恵介　原作：壺井栄
出演：高峰秀子、月丘夢路、田村高廣、小林トシ子、笠智衆

ゲスト 有本裕幸（小豆島フィルムコミッション統括・二十四の瞳映画村 専務理事）

作品紹介 瀬戸内海に浮かぶ小豆島を舞台に、女性教師と12人の子供たちの交流を抒情的に綴った木下恵介監督の国民的傑作。日本が太平洋戦争に突き進んだ歴史のうねりに、否応なく飲みこまれていく女性教師と生徒たちの苦難と悲劇を通して、戦争の悲壮さを描く。

©1954/2007松竹株式会社

4［日］ イオンシネマ高松東／13:00～ 2021年/90分

6 映画大好きポンポさん

1,000円 会場窓口 or e席リザーブ

監督：平尾隆之
声優：清水尋也
小原好美
大谷凜香
加隈亜衣
大塚明夫

ゲスト
平尾隆之（監督）

©2020 杉谷庄吾【人間プラモ】／KADOKAWA／ 映画大好きポンポさん製作委員会

作品紹介 敏腕映画プロデューサー・ポンポさんのもとで製作アシスタントをしているジーン。映画に心を奪われた彼は、観た映画をすべて記憶している映画通だ。映画を撮ることにも憧れていたが、自分には無理だと卑屈になる毎日。だが、ポンポさんに15秒CMの制作を任され、映画づくりに没頭する楽しさを知るのだった。ある日、ジーンはポンポさんから次に制作する映画『MEISTER』の脚本を渡される。伝説の俳優の復帰作にして、頭がしびれるほど興奮する内容。大ヒットを確信するが……　なんと、監督に指名されたのはCMが評価されたジーンだった！ポンポさんの目利きにかなった新人女優をヒロインに迎え、波瀾万丈の撮影が始まろうとしていた。

3［土］ 情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ／14:00～ 2023年/60分

7 浜辺のサヌカイト ～いのちの海に捧げるサウンドレクイエム～

500円 会場窓口

監督・演奏・出演：土取利行
撮影：長岡参　録音：庵谷文博

ゲスト 土取利行（音楽家）

©立光学舎

©立光学舎

作品紹介 ピーター・ブルック国際劇団音楽監督、フリージャズパーカッショニスト、古代音楽演奏家（サヌカイト、縄文鼓、銅鐸等）として、世界を舞台に活躍する音楽家・土取利行が、郷里・讃岐の瀬戸内海を舞台にサヌカイトを演奏。地球の生命を育んできた浜辺、産砂の地でサヌカイト原石の自然律を紡ぎだす土取の「音宇宙」を完全映像化。

香川県出身の朝原雄三監督が脚本を手掛けた作品を上映！

4［日］ レクザムホール・小ホール／11:00～ 2023年/110分

8 こんにちは、母さん

1,000円 サービスセンター or インターネット予約

監督：山田洋次　脚本：山田洋次、朝原雄三

出演：吉永小百合、大泉洋、永野芽郁、寺尾聰、宮藤官九郎、田中泯、YOU、枝元萌

ゲスト
朝原雄三（脚本）

作品紹介 大会社の人事部長として日々神経をすり減らし、家では妻との離婚問題、大学生になった娘・舞（永野芽郁）との関係に頭を悩ませる神崎昭夫（大泉洋）は、久しぶりに母・福江（吉永小百合）が暮らす東京下町の実家を訪れる。「こんにちは、母さん」。しかし、迎えてくれた母の様子が、どうもおかしい…。割烹着を着ていたはずの母親が、艶やかなファッションに身を包み、イキイキと生活している。おまけに恋愛までしているようだ！久々の実家にも自分の居場所がなく、戸惑う昭夫だったが、お節介がすぎるほどに温かい下町の住民や、これまでとは違う“母”と新たに出会い、次第に見失っていたことに気付かされてゆく。

©2023「こんにちは、母さん」製作委員会

さぬき映画祭創設時からご尽力いただいた故 中島貞夫監督 追悼上映

4［日］ イオンシネマ高松東／10:00～ 2023年/88分

9 遊撃 / 映画監督 中島貞夫

1,000円 会場窓口 or e席リザーブ

監督：松原龍弥

出演：中島貞夫
高良健吾、多部未華子、倉本聰、三島ゆり子、橘麻紀

ゲスト 松原龍弥（監督）　大津一瑯（脚本家）

作品紹介 2018年の東映京都撮影所を舞台に繰り広げられていく中島貞夫監督（当時83歳）とキャスト・スタッフたちによる覇気あふれる映画作りと、友人である倉本聰（脚本家）や、かつての仕事仲間である荒木一郎（俳優/作家/歌手）、三島ゆり子（俳優）、橘麻紀（俳優／歌手）、高田宏治（脚本家）、教え子の熊切和嘉（映画監督）らによる言葉たちと共に綴られていく、ひとりの映画監督の愛すべきポートレイト。京都国際映画祭2021、大阪アジアン映画祭2022で上映され喝采を浴びたドキュメンタリー。

©2022「遊撃 / 映画監督 中島貞夫」製作委員会

©2022「遊撃 / 映画監督 中島貞夫」製作委員会

リクエスト募集 投票の多かった上位3作品を一挙上映！

1 3［土］ レクザムホール・小ホール 16:30～

10 UDON 2006年/134分

1,000円 サービスセンター or インターネット予約

コメンタリートーク（映画を観ながらの解説付き上映会）

本広監督とうどん店店主が、皆さんと一緒に作品を観ながら解説！

ゲスト
本広克行（監督）
山下義高（よしや（丸亀）店主）
白川陽一（SIRAKAWA店主）

監督：本広克行

出演：ユースケ・サンタマリア、小西真奈美

©2006 フジテレビ ROBOT 東宝

作品紹介 BIGになるため讃岐を飛び出した男―松井香助、31才。田舎暮らしに嫌気が際した彼は父親と大喧嘩した挙句、NYへ…だが、案の定、武者修行も夢半ばで挫折。たっぷり背負った借金に追われながらの凱旋?帰国。大嫌いだった故郷でいつも心配ばかりかけ通しの優しい姉と、うどんを打つことしか知らないガンコな親父、昔のままの友人たち、世話好きな近所のおばちゃん、そして、温かいうどんが待っていた。そんな香助が、タウン情報誌編集者・恭子とともにひょんなことから出会ったうどんの魅力が、次第に大きな湯気を立ち上げ日本中を包み込む……!?

2 4［日］ 情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ／15:30～

11 県庁の星 2006年/131分

500円 会場窓口

監督：西谷弘

出演：織田裕二、柴咲コウ

©2005 「県庁の星」製作委員会

作品紹介 野村はK県庁のキャリア公務員で上昇志向丸出しの男。ビッグプロジェクトを足がかりに更なるステップアップを狙っている。野村は民間企業との人事交流研修のメンバーに選出されるが、研修先は客もまばらなスーパー。しかも野村の教育係・二宮あきは自分より年下のパート店員だった。意気込む野村だったが、スーパーでは全く役立たずの存在で、二宮とも事あるごとに衝突する。さらにプロジェクトから外され失意の底に落ちる野村。そんな野村の支えとなったのは意外にも二宮だった…。そして、野村は二宮と危機に瀕したスーパーの改革に乗り出すことになる。果たして改革はうまくいくのか?そして二人の心の中にも改革が起きるのか?

3 4［日］ イオンシネマ高松東／15:30～

12 Arc アーク 2021年/127分

1,000円 会場窓口 or e席リザーブ

監督：石川慶

出演：芳根京子、寺島しのぶ、岡田将生

©2021映画「Arc」製作委員会

作品紹介 舞台はそう遠くない未来。17歳で人生に自由を求め、生まれたばかりの息子と別れて放浪生活を送っていたリナは、19歳で師となるエマと出会い、彼女の下で<ボディワークス>を作るという仕事に就く。それは最愛の存在を亡くした人々のために、遺体を生きていた姿のまま保存できるように施術（プラスティネーション）する仕事であった。エマの弟・天音はこの技術を発展させ、遂にストップエイジングによる「不老不死」を完成させる。リナはその施術を受けた世界初の女性となり、30歳の身体のまま永遠の人生を生きていくことになるが…。

さぬき映画祭2024上映スケジュール

ゲスト ゲスト&トークあり　有料上映　無料上映　※チケット(要事前申込)

※ゲスト、上映時間等は急遽変更となる場合があります。　35mmフィルム上映

注意事項 ●上映会場に録音、録画などに使用する機材を持ち込むことはできません。●他のお客様にご迷惑がかかる行為があった場合、ご退場いただくことがあります。

日付	会場	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
3(土)	レクザムホール小ホール		3 10:30～ ゲスト 三豊市中学生映画制作スクール作品「みとよ物語」			2 13:30～ ゲスト 開会式(約40分)の後 オープニング上映 盆栽ラップソディー			10 16:30～ ゲスト UDON		
	イオンシネマ高松東						4 15:00～ ゲスト 鬼が笑う				
	情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ BBスクエア					7 14:00～ ゲスト 浜辺のサヌカイト					
4(日)	レクザムホール小ホール		8 11:00～ ゲスト こんにちは、母さん				1 15:00～ ゲスト お終活 再春! 人生ラプソディ				
	イオンシネマ高松東	9 10:00～ ゲスト 遊撃／映画監督 中島貞夫			6 13:00～ ゲスト 映画大好き ポンポさん			12 15:30～ Arc アーク			
	情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ BBスクエア		5 10:30～ ゲスト 二十四の瞳					11 15:30～ 県庁の星			

1～12 チケットの購入・入場整理券の配布先

※チケット不正転売禁止法違反となりますので、利益を得る目的のチケットの転売は固くお断りします。

チケットのご購入・入場整理券(無料)について

1 2 3 8 10

レクザムホール(香川県県民ホール) [HP] https://kenminhall.com/

1月7日(日) 10:00 販売開始・入場整理券(無料)受付開始

申込・問い合わせ先　県民ホールサービスセンター　電話:087-823-5023(10:00～18:00)

▶インターネット予約 ※右記のQRもしくは、https://kenminhall.com/visitors/ticket/

▶県民ホールサービスセンター窓口販売(10:00～18:00)

※ただし、1月15日(月)及び22日(月)は休館日

スマホサイトはこちら

4 6 9 12

イオンシネマ 高松東 [HP] https://www.aeoncinema.com/cinema/takamatsu/

1月7日(日) 劇場OPENより販売開始

▶ イオンシネマe席リザーブ ※詳しくは、右記のQRからご確認ください。

▶ イオンシネマ窓口販売 ※窓口での購入は、イオンシネマ高松東窓口に限ります。(宇多津・綾川での取扱いはありません)

スマホサイトはこちら

5 7 11

情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ [HP] https://www.e-topia-kagawa.jp/

1月7日(日) 10:00 販売開始

販売時間・場所　※お支払は現金のみとなります。

前売券　1月7日(日)～各映画上映日の前日まで 10:00～17:00　4階総合受付

※ただし、1月9日(火)、15日(月)、22日(月)、29日(月)は休館日

当日券　BBスクエア前受付 各映画それぞれ上映時刻の30分前から販売

※当日券は残席がある場合にのみ販売します

会場のご案内

情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ
サンポート高松 高松シンボルタワー
タワー棟4F / TEL:087-822-0111
高松市サンポート2-1

【アクセス】
- JR高松駅から徒歩3分
- ことでん高松築港駅から徒歩5分
- ことでんバス(朝日町線)
  - 高松駅❷のりばから徒歩2分
- ことでんバス(屋島大橋線)
  - 高松駅❼のりばから徒歩2分

レクザムホール(香川県県民ホール)
TEL:087-823-5023/高松市玉藻町9-10

【アクセス】
- JR高松駅から徒歩8分
- ことでん高松築港駅から徒歩6分
- ことでんバス(朝日町線)
  - 県民ホール前バス停から徒歩1分
- ことでんバス(屋島大橋線)
  - 片原町駅前バス停から徒歩6分
  - 三越前バス停から徒歩8分

イオンシネマ 高松東
イオン高松東店 3F
高松市福岡町3-8-5/TEL:087-822-0505

【アクセス】
- ことでん沖松島駅から徒歩10分
- ことでんバス(朝日町線)
  - 県立武道館バス停から徒歩11分
- ことでんバス(屋島大橋線)
  - 歯科医療センター・イオン高松東店前バス停から徒歩3分

会場間の移動には レンタサイクルが便利です!

高松市では、市内数箇所のポートで自転車を貸し出しています。借りたポート以外でも返却可能です。

お問い合わせ **レンタサイクル管理センター** TEL 087-831-5383

- **料金(一時利用)**
  200円(24時間以内1回)
- **利用時間**
  7:00〜23:00(❶、❺)
  7:00〜22:00(❷、❸、❹)
- **利用方法**
  専用アプリ「HELLO CYCLING」に登録のうえご利用ください。
  ※スマートフォンをお持ちでない方は、高松駅(❶)にて利用が可能です。

バスをご利用の方は、右のQRより時刻表をご確認ください。

ことでんバス 朝日町線 時刻表

ことでんバス 屋島大橋線 時刻表

「さぬき映画祭2024」では、ご支援いただけるサポーターを募集しています!

(一口 3,000円)

お申込みいただいた方については、さぬき映画祭ホームページでお名前をご紹介いたします(希望者のみ)。
その他、サポーター特典等はございませんので、あらかじめご了承ください。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

www.sanukieigasai.com

お問い合わせ

さぬき映画祭実行委員会事務局(香川県文化振興課内)

〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10 TEL 087-832-3785 FAX 087-806-0238 E-mail info@sanukieigasai.com